

平成21年度冬作関係 除草剤・生育調節剤試験判定内容

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成21年度冬作関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成22年9月9日(木)に浅草ビューホテルにおいて開催された。

この検討会には、試験場関係者19名、委託関係者26名ほか、計71名の参集を得て、除草剤21薬剤(91点)、及び

生育調節剤2薬剤(5点)について、試験成績の報告と検討が行った。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に通りである。

平成21年度 冬作関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 除草剤 (1)小麦 注)アンダーラインは拡大された部分を示す。また、薬剤名のアンダーラインは、初めて使用基準が作成されたことを示す

薬剤名 有効成分及び含有率 (%)	判定	使用規準							継続の内容
		対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域	使用上の注意	
1. BCH-081フロアブル フルフェナセト:33.6% シフルフェニカン:8.4% [バイエル クロップサイエンス]	実・継続	一年生雑草	茎葉兼土壌	播種後～ 小麦3葉期、 イネ科雑草1Lまで	60～80mL 散布水量 100L	全土壌 (砂土を除く)	全域	・葉に白斑や黄化、褐変を生じる場合がある	・年次変動の確認(北海道) ・カズノコグサに対する効果の確認 ・抵抗性スズメノテッポウに対する効果の確認
2. HPW-105乳 トリフルラン:33% IPC:11% [保土谷UPL、 タウケミカル日本]	実・継続	一年生雑草	土壌	播種後出芽前、 雑草発生前	300～ 400mL 散布水量 100L	全土壌 (砂土を除く)	東北以南	・ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く	・200mL/10a処理での効果の確認(東北以南) ・300～400mL/10a処理での年次変動の確認 ・砂土性と薬害について ・イネ科問題雑草に対する効果の確認
3. KUH-043顆粒水和 ピロキサスルホン:50% [クマイ化学工業]	継続								・効果、薬害の確認(北海道)
4. MBH-075 乳 プロスホルブ:46% リニロン:11.5% [丸和バイオケミカル]	実・継続	一年生雑草 カズノコグサ *抵抗性スズメノテッポウ	土壌	播種後出芽前、 雑草発生前	400～ 600mL 散布水量 100L 500～ 600mL 散布水量 100L	全土壌 (砂土を除く)	東北以南	・砂壌土では生育抑制を生じる場合がある *SU抵抗性、ジニトロニン抵抗性、およびその複合抵抗性に有効	
5. MK-243細粒 インダナフエ:0.8% [日本農薬]	実・継続	一年生雑草	土壌	播種後出芽前、 雑草発生前	5～6kg	全土壌 (砂土を除く)	東北以南	・タネツケバナには効果が劣る	・播種後出芽前、 4kg/10a処理での効果、 薬害の確認 ・小麦1～3葉期処理での効果、 薬害の確認 ・カズノコグサに対する効果の確認 ・抵抗性スズメノテッポウに対する効果の確認 ・ホケザに対する効果の確認

A. 除草剤 (1) 小麦

注) アンダーラインは拡大された部分を示す。また、薬剤名のアンダーラインは、初めて使用基準が作成されたことを示す

薬剤名 有効成分及び含有率 (%)	判定	使用基準						継続の内容			
		対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域		使用上の注意		
6. NC-613乳 エスプロカルブ: 60% ジフルフェニカ: 1.5% [日産化学]	実	一年生雑 草、イヌカシ レ	土壌	播種後～小麦出 芽前、雑草発生 始まで	300～ 400mL 散布水量 100L	全土壌 (砂土を除く)	北海道	・薬に白斑を生じる場 合がある ・SU抵抗性、ジニトロ アミン抵抗性、およびそ の複合抵抗性に有効 ・イヌカシが多発する 圃場では高薬量で使 用する			
		一年生雑 草		播種後～小麦出 芽前、雑草発生 始まで	300～ 500mL 散布水量 100L					東北以南	
		*抵抗性ス ズメノテッポウ		播種後～小麦出 芽前、 スズメノテッポウ発 生始まで							
		カスノコグサ		播種後～小麦出 芽前、 カスノコグサ発生始 まで	400～ 500mL 散布水量 100L						
7. NC-613細粒 エスプロカルブ: 6% ジフルフェニカ: 0.15% [日産化学]	継								・効果、被害の確認		
8. NC-622液 グリホサートカリウム塩: 48% [日産化学]	実 (従来どおり)	一年生雑草	茎葉	小麦生育期 雑草生育期(草 丈30cm以下) (圃場周縁)	200～ 500mL 散布水量 25～100L	全土壌	東北以南	・少量散布(25～ 50L/10a)の場合は専 用ノズルを使用する			
9. RSH-44乳 ジフルフェニカ: 3.7% トリフルアリン: 37.0% [バイエル クロップサイエ ンス]	実・ 継	一年生雑 草、イヌカシ レ	土壌	播種後～出芽前 期 雑草発生前	150～ 250mL 散布水量 100L	全土壌 (砂土を除く)	北海道	・薬に白斑を生じる場 合がある ・イヌカシが多発する 圃場では高薬量で使 用する	・小麦2～3葉期の関東 以西への拡大 ・カスノコグサ、スズミギ に対する効果の確認		
				播種後出芽前 雑草発生前	200～ 250mL 散布水量 100L					東北以南	
				茎葉兼 土壌	小麦1～3葉期		100～ 150mL 散布水量 100L				北海道
					小麦2～3葉期		200～ 250mL 散布水量 100L			東北、北 陸	
10. SYJ-100乳 プロスルホカルブ: 78.4% [シンジエンタ ジャパン]	実・ 継	一年生雑 草	茎葉兼 土壌	播種後～ 小麦2葉期、 雑草発生始まで	400～ 500mL 散布水量 100L	全土壌 (砂土を除く)	全域	・薬斑、黄化、縮葉な どの症状がみられる 場合がある ・SU抵抗性、ジニトロ アミン抵抗性、およびそ の複合抵抗性に有効	・カスノコグサ、カラスミ ギに対する効果の 確認 ・播種後出芽前～小麦 2葉期処理での、イヌカ シに対する効果の確認 ・抵抗性スズメノテッポ ウに対する効果の年次変 動の検討		
				*抵抗性ス ズメノテッポウ						播種後～ 小麦2葉期、 スズメノテッポウ1Lま で	東北以南
11. SYJ-227細粒 プロスルホカルブ: 7% リニエロン: 1.75% [シンジエンタ ジャパン]	実	一年生雑 草	土壌	播種後出芽前、 雑草発生前	3～4kg	全土壌 (砂土を除く)	東北以南				
12. ZK-122液 グリホサートカリウム塩: 44.7% [シンジエンタ ジャパン]	実	多年生イ ネ科雑草	茎葉	耕起3日以前 (草丈30cm以下)	500～ 750mL 散布水量 25～100L	全土壌	北海道	・少量散布(25～ 50L/10a)の場合は少 量散布用ノズルを使 用する ・作物に飛散しないよ うに注意する			
		一年生雑 草		耕起または播種 前、雑草生育期 (草丈30cm以 下)	250～ 500mL 散布水量 25～100L					東北以南	
				播種後出芽前、 雑草生育期(草 丈30cm以下)							
				小麦生育期 雑草生育期(草 丈30cm以下) (圃場周縁)							

A. 除草剤 (2) 大麦

注)アンダーラインは拡大された部分を示す。また、薬剤名のアンダーラインは、初めて使用基準が作成されたことを示す

薬剤名 有効成分及び含有率 (%)	判定	使用基準							継続の内容
		対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域	使用上の注意	
1. BCH-0817プロアフルフェナセット:33.6% ジフルフェニカン:8.4% [ハイエル クロップ サイエンス]	実・ 継	一年生雑 草	茎葉兼 土壌	播種後～ 大麦3葉期、 イネ科雑草1Lまで	60～70mL 散布水量 100L	全土壌 (砂土を除く)	東北以南	・葉に白斑や黄化、褐変を生じ、生育が遅延される場合がある	・高薬量での薬害について
2. HPW-105乳 トリフルリン:33% IPC:11% [保土谷UPL、 タウ・ケミカル日本]	実・ 継	一年生雑 草	土壌	播種後出芽前、 雑草発生前	300mL 散布水量 100L	全土壌 (砂土を除く)	東北以南	・ツクサ科、カヤツクサ科、ヤブ科、アブラナ科を除く	・200mLおよび400mL/10a処理での効果、薬害の確認 ・300mL/10a処理での年次変動の確認 ・砕土性と薬害について ・イネ科問題雑草に対する効果の確認
3. MBH-075 乳 プロスルホカルブ:46% リニエロン:11.5% [丸和ハイオケミカル]	実	一年生雑 草	土壌	播種後出芽前、 雑草発生前	400～ 600mL 散布水量 100L	全土壌 (砂土を除く)	東北以南	・黄化、生育抑制を生じる場合がある	
4. MK-243細粒 インダノファン:0.8% [日本農薬]	継								・効果、薬害の確認
5. NC-613細粒 エスプロカルブ:6% ジフルフェニカン:0.15% [日産化学工業]	継								・効果、薬害の確認
6. PL-10乳 ベンデメタリン:15% リニエロン:10% [日本農薬]	実・ 継	一年生雑 草	土壌	播種後出芽前、 雑草発生前	500～ 800mL 散布水量 100L	全土壌 (砂土を除く)	北陸以西	・ヤエムグラに効果が劣る場合がある	・東北地域での効果、薬害の確認
7. PL-10細粒 ベンデメタリン:1.5% リニエロン:1.0% [日本農薬]	実・ 継	一年生雑 草	土壌	播種後出芽前、 雑草発生前	5～6kg	全土壌 (砂土を除く)	北陸以西	・ヤエムグラに効果が劣る場合がある	・東北地域での効果、薬害の確認
8. SYJ-100乳 プロスルホカルブ:78.4% [シンジェンタ ジャパン]	実	一年生雑 草	茎葉兼 土壌	播種後～大麦2 葉期、 雑草発生前まで	400～ 500mL 散布水量 100L	全土壌 (砂土を除く)	東北以南	・葉斑、黄化、縮葉などの症状がみられる場合がある	
6. SYJ-227細粒 プロスルホカルブ:7% リニエロン:1.75% [シンジェンタ ジャパン]	実	一年生雑 草	土壌	播種後出芽前、 雑草発生前	3～4kg	全土壌 (砂土を除く)	東北以南	・黄化、生育抑制を生じる場合がある	

B. 生育調節剤

注)アンダーラインは拡大された部分を示す。また、薬剤名のアンダーラインは、初めて使用基準が作成されたことを示す

薬剤名 有効成分及び含有率 (%)	判定	使用基準							継続の内容
		対象作物 使用目的	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域	使用上の注意	
1. BAW-0907液 既知化合物: 75%(w/v) [BASFジャパン]	—								(作用性)
2. KUH-833F(M)フロアフル プロヘキサジノンカルシウム 塩:5.0% [クマアイ化学工業]	実 (従来どおり)	・小麦対象 ・節間伸長 抑制による 倒伏軽減	茎葉	止葉期～ 出穂5日前	150mL 散布水量 100L	全土壌	全域	・止葉期とは止葉が確認できた日を目安とする	・出穂始期での効果、薬害の確認 ・200mL/10a処理での効果、薬害の確認